

## 阪神市民文化社会ビジョン 「新しい公」の発展のために

「阪神市民文化社会ビジョン」では、これから構築していくべき地域社会のあり方を示す基本理念と4つの行動目標、行政と県民が協働して取り組む「シンボルプロジェクト」を定め、併せてこれらの達成に向けた営みを支える新しい地域社会活動の枠組みを取りまとめました。

### 1 基本理念

これまで市民が生活文化のイニシアチブをとってきた地域特性を生かしながら、多様で个性的かつ自律性にあふれた市民が「新しい公」の領域を担いつつ、行政がこれを支援する枠組みの中で、市民主体の幅広い社会経済活動が展開する阪神市民文化社会の創造をめざします。

### 2 行動目標

#### (1) 多様で个性的なライフスタイルを育むことができる社会をつくる

多彩な文化施設等を核として、芸術文化をまちに広げる  
山、海、川、運河や豊富なスポーツ施設等を生かして、スポーツをまちに広げる  
多様な地域づくり活動やライフスタイルを支える生涯学習を展開する  
地域とのふれあいのなかで、子どもの個性を認め能力を伸ばす  
世界に視野を広げ、国際社会の一員として能力を発揮する若者等を支援する  
だれもが参加しやすい地域づくり活動を進める  
地域のニーズにこたえるNPO等の団体を育成・支援する  
多文化が共生し、世界に開かれたまちをつくる  
多様な地域づくり活動やライフスタイルを広げる交流を進め、支える仕組みをつくる

#### (2) 自律と協働による温かいコミュニティをつくる

安心して子どもを生み、ゆとりをもって健やかに育てる環境をつくる  
自然や人、地域とのふれあいを通して、青少年を育成する  
年齢や障がい乗り越えてパートナーシップを築く  
だれもが活動・行動しやすいユニバーサルデザインの生活空間をつくる  
超高齢社会での元気な高齢者等の活動や事業を広げる  
人権を尊重し、男女共同参画社会を実現させる  
コミュニティでの健康福祉対策を充実させる  
“私たちのまちは私たちで守る” 自主防災・減災活動を充実させる  
行政との協働による地域づくりを進める

#### (3) 自然と豊かに調和した安全・快適な都市環境を創造する

自然環境への理解を深める  
阪神ベイエリアの海浜、武庫川・猪名川等の水辺を再生し、潤いのある都市空間をつくる  
緑豊かな六甲・北摂連山の恵まれた自然を生かし、憩いの場をつくる  
豊かな自然のなかで息づく生物多様性を保全する  
地球環境にやさしいライフスタイルに転換する  
良好な居住環境を維持・充実させる  
中心市街地の機能を向上させる  
環境に配慮した交通手段の利用を進める  
安全・安心なまちをつくる

(4) 豊かさとにぎわいを創出する新たな阪神経済を展開する

地場産業や特産業等を振興する
地域の活力とコミュニティを支えるにぎわいのある商業ゾーンをつくる
農山村の持続性を確保する
安全で安心な生鮮食料品の生産に加え、市民農園等の交流機能を持つ都市(近郊)農業を振興する
地域の魅力に親しむツーリズムを振興する
芸術文化・スポーツ等の地域資源等を生かした産業を振興する
地域のニーズを事業化するコミュニティビジネス等を支援する

3. シンボルプロジェクト

行政と県民が協働して行う事業のうち、特に重点的に取り組む事業をシンボルプロジェクトとして推進します。

「阪神なぎさ回廊プロジェクト」

海と都市が接する「なぎさ」を阪神南地域の歴史、現在、未来のシンボルとして捉え、自然と都市の再生を図る環境先進都市づくりを進めます。

「地域見本市」

阪神北地域の魅力の再発見を通じて地域への愛着を深めるとともに、地域課題に主体的に対応する活動の担い手を発掘するため、「地域見本市」を開催します。

4. 新たな地域づくり活動システムの構築

市民主体の幅広い地域づくり活動が展開する阪神市民文化社会を維持・向上させていくため、だれもが参画し、連携・協力しながら地域づくり活動を行うことができるシステムを、市民と行政が一体となって構築します。

(1) 時代の変化に対応した地域づくり活動

「新しい公」の領域における課題について、市民の参画と協働によりの確に対応していく仕組みを構築するとともに、自律分散型の地域づくり活動をめざします。

(2) 地域に根ざしたシステムの構築

地域の人材の発掘・育成や、地域の既存施設の活用による活動拠点の充実など、地域づくり活動への適切な支援に取り組みます。

(3) 「新しい公」の担い手

「新しい公」の担い手をつくるために、市民と行政の適切なパートナーシップのもと、地域づくり活動に参画・支援する機運を醸成し、実践への取り組みを促進します。